

# 保健学科教育学修プログラム

## 看護学専攻

### 令和3年度後期

### 3年次

#### 【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

#### 【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

## 令和3年度 授業時間配当表(保健学科看護学専攻3年次)

		前 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	看護研究方法論	医療英語 I	医療情報システム学	公衆衛生看護学演習	成人看護学演習	看護研究方法論	医療英語 I		公衆衛生看護学演習	成人看護学演習	
2	在宅看護学演習	助産診断・技術学 I	人類遺伝学	公衆衛生看護学演習	助産診断・技術学 I		助産診断・技術学 II	人類遺伝学	公衆衛生看護学演習	助産診断・技術学 II	
3	健康の危機と看護	尊厳のある死と看護	小児家族看護学演習		母性家族看護学演習 II	生活援助論演習 III	尊厳のある死と看護	小児家族看護学演習			
4					母性家族看護学演習 II	生活援助論演習 III		在宅看護学演習			
5											

\* 臨地実習 9月から開始

		後 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	助産業務管理論	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習		臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
2	医療英語 II	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	医療英語 II	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
3	家族看護論	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
4	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
5	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	

\* 助産診断技術学演習 I 9、11、1、2、3月に集中講義

\* 看護の統合 1月に集中講義

16週制

# 令和3年度・七曜表

(保健学科看護学専攻3年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	1
	11	12	13	14	15	16	17	2
	18	19	20	21	22	23	24	3
	25	26	27	28	29	30	1	4
5	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	5
	16	17	18	19	20	21	22	6
	23	24	25	26	27	28	29	7
	30	31	1	2	3	4	5	8
6	6	7	8	9	10	11	12	9
	13	14	15	16	17	18	19	10
	20	21	22	23	24	25	26	11
	27	28	29	30	1	2	3	12
7	4	5	6	7	8	9	10	13
	11	12	13	14	15	16	17	14
	18	19	20	21	22	23	24	15
	25	26	27	28	29	30	31	16・試
8	1	2	3	4	5	6	7	試
	8	9	10	11	12	13	14	再試
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31	1	2	3	4	
9	5	6	7	8	9	10	11	1
	12	13	14	15	16	17	18	2
	19	20	21	22	23	24	25	3
	26	27	28	29	30			4

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10						1	2	4
	3	4	5	6	7	8	9	5
	10	11	12	13	14	15	16	6
	17	18	19	20	21	22	23	7
	24	25	26	27	28	29	30	8
	31	1	2	3	4	5	6	9
11	7	8	9	10	11	12	13	10
	14	15	16	17	18	19	20	11
	21	22	23	24	25	26	27	12
	28	29	30	1	2	3	4	13
	5	6	7	8	9	10	11	14
12	12	13	14	15	16	17	18	15
	19	20	21	22	23	24	25	16
	26	27	28	29	30	31	1	
	2	3	4	5	6	7	8	17
	9	10	11	12	13	14	15	18
1	16	17	18	19	20	21	22	19
	23	24	25	26	27	28	29	20
	30	31	1	2	3	4	5	21
	6	7	8	9	10	11	12	22
	13	14	15	16	17	18	19	23
2	20	21	22	23	24	25	26	24
	27	28	1	2	3	4	5	25
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
3	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			

備考

- ◇ 4月2日(金) 火曜日授業
- ◇ 6月1日(火) 鳥取大学記念日
- ◇ 7月26日(月) 定期試験期間開始
- ◇ 8月6日(金) 定期試験期間終了
- ◇ 8月10日(火) 再試験期間開始
- ◇ 8月23日(月) 再試験期間終了

- ◇ ※月曜日午前は定期試験、22週目
- ◇ ※月曜日午前は再試験、24週目
- ◇ 5週目～21週目までの月曜午後は臨地実習も含む

第1Q	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 月曜授業	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 火曜授業	<span style="background-color: cyan; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 水曜授業	<span style="background-color: orange; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 木曜授業	<span style="background-color: lightgreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 金曜授業
第2Q	<span style="background-color: pink; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 月曜授業	<span style="background-color: lightyellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 火曜授業	<span style="background-color: lightcyan; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 水曜授業	<span style="background-color: peachpuff; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 木曜授業	<span style="background-color: limegreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 金曜授業
	<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 臨地実習	<span style="background-color: lightpurple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 臨地実習(午後)			

# 保健学科看護学専攻3年次目次

後期

	区分	授業科目名	
必修	外国語	医療英語Ⅱ(ウィルシャー)	5
	外国語	医療英語Ⅱ(戸野)	6
必修	専門科目	成人看護学実習Ⅰ(通年)	7
必修	専門科目	老年看護学実習(通年)	8
必修	専門科目	母性家族看護学実習(通年)	9
必修	専門科目	小児家族看護学実習(通年)	10
必修	専門科目	公衆衛生看護学実習(通年)	11
必修	専門科目	精神看護学実習(通年)	12
必修	専門科目	在宅看護学実習(3年後期～4年前期)	13
必修	専門科目	家族看護論	14
必修	専門科目	看護の統合	15
選択	専門科目	助産診断技術学演習Ⅰ	16
選択	専門科目	助産業務管理論	17

※助産師の取得を目指す者は、人類遺伝学、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ、助産診断技術学演習Ⅰ、助産業務管理論を修得してください。

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル(基礎科目)
- 3: 中級～上級レベル(応用科目)
- 4: 上級レベル(発展科目)
- 5: 大学院レベル

## 医療英語Ⅱ(ウィルシャークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker II

科目責任者(所属): TL ウィルシャー(基礎看護学の講師)

連絡先: timw@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Introduction	TL ウィルシャー	基礎看護学	beginning	introduce
2	10/11(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Unit 7	TL ウィルシャー	基礎看護学	Injuries and Emergencies	Parts of the body, past tense, levels of seriousness, role play
3	10/18(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Unit 7 (cont.)	TL ウィルシャー	基礎看護学	Injuries and Emergencies (cont.)	emergency
4	10/25(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Unit 8	TL ウィルシャー	基礎看護学	How Are You Feeling?	Present continuous, internal organs, mime game, find the differences
5	11/1(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Unit 8 (cont.)	TL ウィルシャー	基礎看護学	How Are You Feeling? (cont.)	feeling
6	11/8(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Unit 9	TL ウィルシャー	基礎看護学	A Patient's Medical History	Talking about past time, find someone who . . . , scrambled sentences
7	11/15(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Unit 9 (cont.)	TL ウィルシャー	基礎看護学	A Patient's Medical History (cont.)	patient
8	11/22(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Midterm Review	TL ウィルシャー	基礎看護学	midterm	review
9	11/29(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Units 10/11	TL ウィルシャー	基礎看護学	Medicine/IV	Modal verbs, adverbs of frequency, future tense
10	12/6(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Units 10/11 (cont.)	TL ウィルシャー	基礎看護学	Medicine/IV (cont.)	medicine
11	12/13(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Units 11/12	TL ウィルシャー	基礎看護学	IV/Birth	Pronouns, modal dialogs, brief review
12	12/20(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Units 11/12 (cont.)	TL ウィルシャー	基礎看護学	IV/Birth (cont.)	born
13	12/27(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Oral Test	TL ウィルシャー	基礎看護学	oral	test
14	1/17(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Oral Test	TL ウィルシャー	基礎看護学	speaking	assessment
15	1/24(月)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Final Test	TL ウィルシャー	基礎看護学	final	test

教育ブランドデザインの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 3

評価: Final Test (written and oral) - 70%, classwork and participation - 30%

実務経験との関連: 無し

教科書: Speaking of Nursing 2018

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 医療英語Ⅱ(戸野クラス)

科目到達目標: Being a Good Medical Speaking Nurse II

科目責任者(所属): 戸野 康恵(非常勤講師)

連絡先: 学務課教務係を通して連絡

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Assessing Pain	戸野 康恵	非常勤講師	痛みについて尋ねる	body parts, pain
2	10/11(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Assessing Pain (cont.)	戸野 康恵	非常勤講師	assessment	painful
3	10/18(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Advising about Medication	戸野 康恵	非常勤講師	薬の服用について説明する	medication, side effects
4	10/25(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Advising about Medication (cont.)	戸野 康恵	非常勤講師	advice	advise
5	11/1(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Improving Patients' Mobility	戸野 康恵	非常勤講師	リハビリの援助をする	exercise, transfer
6	11/8(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Improving Patients' Mobility (cont.)	戸野 康恵	非常勤講師	improve	mobility
7	11/15(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Maintaining a Good Diet	戸野 康恵	非常勤講師	食事療法の助言をする	diet, nutrients, health conditons
8	11/22(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Maintaining a Good Diet (cont.)	戸野 康恵	非常勤講師	maintain	healthy
9	11/29(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Caring for Inpatients	戸野 康恵	非常勤講師	入院中の生活について説明する	operation, hospital rules, schedule
10	12/6(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Caring for Inpatients (cont.)	戸野 康恵	非常勤講師	care	inpatient
11	12/13(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Coping with Emergencies	戸野 康恵	非常勤講師	Coping with Emergencies	emergency
12	12/20(月)	1	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Coping with Emergencies (cont.)	戸野 康恵	非常勤講師	cope	help
13	12/20(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Review	戸野 康恵	非常勤講師	復習	review
14	12/27(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Oral Presentations	戸野 康恵	非常勤講師	会話発表	oral
15	1/17(月)	2	231	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Final Assessment	戸野 康恵	非常勤講師	試験	assessment

教育グランドデザインの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験50%、発表30%、小テスト20%

実務経験との関連: 無し

教科書: Caring for People, 2014年, Gengage Learning

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

成人看護学実習I(臨地実習3年次後期～4年次前期)

- 科目到達目標: 1. 対象者の思いや考えを理解し、その理解に基づいて円滑に意思疎通を図り、対象者との人間関係を形成できる  
 2. 援助的人間関係の形成に影響を及ぼす自己の在り方を内省することができる  
 3. 対象者を理解しつつ、個性に応じた適切な看護行為を実施し、対象者に価値ある変化をもたらすことができる力を養うことができる。  
 4. 実習をとおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる  
 5. 実習をとおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる。  
 6. 実習の中で、自己の関わりを客観的にとらえ、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身につけることができる  
 7. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる

科目責任者(所属教室): 谷村 千華 (成人・老人看護学)

連絡先: 0859-38-6315、chika01@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～68	別途指定 未定		鳥取大学医学部附属病院/成人・老人看護学講座研究室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	<p>原則として1～2名の対象者を受け持つ。1名の対象者を2～3週間継続して受け持ち、その対象者を通して看護の在り方について学ぶ。</p> <p><b>第1週目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習環境を知り、効果的な学び方をつかむ。</li> <li>・卓越したスキルをもつ看護師の対象者への関わりやケアに共に参加することを通して、対象者に応じた効果的な看護ケアを学ぶ。</li> <li>・対象者とのかかわりを通して、人間関係のあり方について学ぶ。</li> <li>・対象を理解し、健康課題の判断を行う。</li> </ul> <p><b>第2週目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別的な健康課題に応じた計画を立案し、看護を実施する。</li> </ul> <p><b>第3週目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護計画に沿って具体的に看護を実施し、看護の結果について評価を行い、計画の修正・追加、実施を行う。</li> <li>・看護目標の到達度を評価する。</li> </ul> <p><b>第1週目～3週目までを通して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 考えて行動すること、行動しつつ考えること。行動(行為)を通して、「看護とは何か?」「病とともに生きる対象者に対する看護とは何か」を学ぶ。</li> <li>* 日々の看護実践やカンファレンスを通して、経験した看護や事象を意味づけ(対象者にとって、どのような意味があるのか、看護として正しいか)、それらを統合しながら、看護のあり方や自己の関わり方を洞察していく。</li> <li>* 「行為のなかでのリフレクション」「行為の後でのリフレクション」「行為についてのリフレクション」をし、経験の質を高めていく。</li> </ul>	谷村 千華 大庭 桂子 野口 佳美 酒井知恵子 長谷川慶幸 中條 雅美	成人・老人 看護学	<p>1. 対象者の思いや考えを理解し、その理解に基づいて円滑に意思疎通を図り、対象者との人間関係を形成できる</p> <p>2. 援助的人間関係の形成に影響を及ぼす自己の在り方を内省することができる</p> <p>3. 対象者を理解しつつ、個性に応じた適切な看護行為を実施し、対象者に価値ある変化をもたらすことができる力を養うことができる。</p> <p>4. 実習をとおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる</p> <p>5. 実習の中で、自己の関わりを客観的にとらえ、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身につけることができる</p> <p>6. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる</p> <p>慢性的な経過をたどる健康障害をもちながら、病と共に生きる対象者の看護の特徴として、*1～*4を実習目標の下位目標とする。</p> <p>*1 対象者が病とどのようにつきあってきたかに焦点をあてて、慢性的な健康障害と共に生きる対象を理解する(病の軌跡や受容過程・行動変容ステージなどの理論やモデルを援用する)。</p> <p>*2 対象者の病気や障害の主観的意味を理解し、対象者の心理的側面にそった援助を実施する。</p> <p>*3 対象者の病気や治療によって起こり得る症状や随伴する障害(機能低下)に対応し、セルフマネジメントできるようにするための援助を考え、実施する。</p> <p>*4 対象者を生活者にとらえ、その人が自分らしく生きていくための生活の維持・改善、生活の再構築、生活範囲の拡大、自立のための援助を実施する。</p>	慢性、対象理解、看護の方向性の理解、健康課題の判断と目標設定、看護行為の実施、評価、病みの軌跡、受容過程、行動変容ステージ、セルフマネジメント、生活者、生活の再構築、医療チーム、倫理感、専門性の追求

教育グランドデザインとの関連: 1,2,3,4,5

学位授与の方針との関連: 1,2,3,4

評価: 実習態度、実習内容(カンファレンスへの参加状況・資料提供、学習状況を含む)、提出物(実習記録、レポート)によって総合的に評価

詳細は実習要項参照(7月頃に配布予定)

実務経験との関連: 看護の臨床経験を持ち、専門的知識を持つ教員が慢性疾患を持つ患者の看護について、上記学習到達目標を達成できるよう支援する

指定教科書: なし

その他: 事前に実習オリエンテーションを行うので、必ず出席すること

インフルエンザの予防接種を受けて実習に参加すること

看護学生の臨床実習用傷害保険に加入しなければ受講できない

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

**老年看護学実習**

科目到達目標: 老年期にある対象の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と人生の統合期である発達課題を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことができる。

科目責任者(所属): 三好 陽子(成人・老人看護学)

連絡先: 202教員室TEL: 0859-38-6312 mail: miyoc.45@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1 ~ 68	別途指定	別途指定	別途指定	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	<p>老年看護学実習は、計3週間とし以下の内容とする</p> <p><b>老1:介護老人福祉施設 1週間</b> 要介護高齢者を受け持ち、地域で生活する対象の全体像を理解し、安心・安全な環境整備や生活援助の実際を学ぶ。また介護老人福祉施設である特別養護老人ホームの機能や役割、他職種連携の実際を学ぶ。</p> <p><b>老2:回復期リハビリテーション病院1週間</b> 回復期にある高齢患者を受け持ち、健康課題解決過程の展開を実践する。また回復期リハビリテーション病院における高齢者を支える他職種連携や社会福祉サービスを学ぶ。</p> <p><b>老3:介護保険施設等 1週間</b> 高齢者の生活の場であるグループホーム、デイサービス、デイケア、サービス付き高齢者向け住宅等の機能や役割を学び、地域で生活している高齢者への医療・介護・福祉サービスの実践を学ぶ。</p>	三好 陽子 吉村 純子 酒井 知恵子 長谷川 慶幸	成人・老人看護学	<p><b>老1 介護老人福祉施設</b> 1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の役割・機能の実際が説明できる。 2) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で生活している高齢者の概要が説明できる。 3) 加齢や老年症候群等により、不可逆的な老化の状態にある高齢者の生活援助方法が説明できる。 4) 高齢者が主体となり、生活することに積極的に関わられるよう自律性を高める援助について説明できる。 5) 高齢者の環境ケアとコミュニケーションのあり方について説明できる。 6) 高齢者とのかかわりを通して、もてる力(強みや残存機能)を引き出す援助について説明できる。 7) 高齢者への生活援助を通して高齢者の自尊心やその人らしさを支える援助について説明できる。 8) 高齢者のケアにおける他職種連携の必要性と看護師の役割について説明できる。</p> <p><b>老2 回復期リハビリテーション病院</b> 1) 対象を全人的に理解できる。 2) 対象の健康課題の抽出ができる。 3) 対象の健康課題に対する看護計画を対象者の個性をふまえて立案する。 4) 対象に実践した看護を評価し、必要に合わせて修正する。 5) 対象の生活の場、療養の場、医療の場に合わせて看護の機能を説明できる。 6) 対象の看護実践を通して、高齢者看護における継続ケアの必要性を理解することができる。 7) 高齢者のケアにおける他職種連携の必要性と看護の機能を説明できる。 8) 対象の疾患および疾患によってもたらされる複合的な問題を理解し、それが患者の生活にどのように影響しているか説明できる。 9) 病状の悪化や合併症予防、および転倒・転落事故防止にむけた看護実践ができる。 10) 対象の強みや残存機能を最大限に生かし、セルフケア確立に向けた看護実践ができる。 11) 退院後の生活変化への適応がスムーズに行えるように生活指導ができる。 12) 継続看護の必要性と対象に必要な社会福祉サービスについて説明できる。</p> <p><b>老3 介護保険施設であるグループホーム、デイサービス、デイケア、サービス付き高齢者向け住宅等</b> 1) グループホームの役割・機能の実際と生活する高齢者の概要について説明できる。 2) デイサービスの役割・機能の実際と利用する高齢者の概要について説明できる。 3) デイケアの役割・機能の実際と利用する高齢者の概要について説明できる。 4) サービス付き高齢者向け住宅の役割・機能の実際と利用する高齢者の概要について説明できる。 5) 高齢者の身体的・心理的・社会的変化を理解し、高齢者の社会参加の必要性について説明できる。 6) サービス利用者における他職種連携の必要性と看護師の役割について説明できる。 7) 在宅高齢者が活用できる社会資源について説明できる。</p>	<p>要介護 健康課題 フィジカルアセスメント 他職種連携 環境 コミュニケーション 自律 QOL 家族 その人らしさ 残存機能 自尊心 社会福祉サービス</p>

教育ランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業レベル: 4

評価: 実習記録提出を前提に、病院実習50%、特養実習25%ケア施設実習25%の比率で到達度を総合的に評価する

実務経験との関連: 老年看護の臨床経験と専門的知識を持つ教員および臨床実習指導者が、学生の到達目標達成にむけて指導する

参考書: リンダ J. カルベニート 看護診断ハンドブック 医学書院、山田律子他 生活機能からみた老年看護過程 医学書院

ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版、老年看護学② 高齢者看護の実践 メディカ出版

その他: 「臨床実習共有ガイド」および「実習要項」(オリエンテーション等で配布予定)を事前に初日オリエンテーションまでに熟読し、内容を理解するとともに、事前学習課題に取り組むこと

実習前オリエンテーションに出席すること

予防接種を受ける等、感染症予防対策をして実習に参加すること

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底すること

看護学生の臨床実習用傷害保険に加入すること

※連絡事項・課題等は、eラーニングシステムmanabaを参照してください



母性家族看護実習(臨地実習3年次後期-4年前期)

科目到達目標:周産期にある母子とその家族に対し基礎的看護が実践できる。子ども・子育て世代包括支援の実際を知りその在り方を考察する。

科目責任者(所属):佐々木 くみ子(母性・小児家族看護学)

連絡先:ksasaki@tottori-u.ac.jp

電話 0859-38-6324

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~45	別途指定	未定	未定	別途指定	別途指定	<p>実習内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入院生活を送る妊産婦・新生児を受持ち看護を実践する。</li> <li>2. 入院中の母子や家族、地域で生活する母子や家族への看護を含めた包括的支援について、保健・医療・福祉システム、チーム医療、多職種連携・協働の視点から学ぶ。</li> </ol> <p>実習場所:</p> <p>鳥取大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 等 (授業内容の詳細は実習要項を参照)</p>	佐々木 くみ子 鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 金山 俊介	母性・小児 家族看護学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期における対象の健康状態を生理的・心理社会的側面から理解し、根拠に基づく看護を実践できる</li> <li>2. 対象の治療を理解し、治療に伴う一連の過程に沿った援助を実践できる</li> <li>3. 親子の相互作用を理解し、親子関係の形成を促すための援助について述べられる</li> <li>4. 母性看護の基本的援助技術が実践できる</li> <li>5. 新しい子どもを迎える家族全体のアセスメントを通して理解したファミリーケアについて述べるができる</li> <li>6. 病棟実習を通して深めた、倫理観、生命観、親になることについて、自己の考えを述べるができる</li> <li>7. 周産期・育児期にある対象者に関わる医療チーム、多職種・多機関の役割、連携、協働について説明できる</li> </ol>	<p>リプロダクティブヘルス・ライツ、ヘルスプロモーション、ウエルネス、エンパワメント、自己決定、セルフケア、ライフ・トランジション、家族発達</p> <p>EBN: evidence based nursing、家族中心的ケア、親役割獲得過程、ボンディングとアタッチメント、親子の相互作用、生命倫理</p> <p>チーム医療、多職種連携・協働、子育て世代包括支援、ワンストップサービス、ソーシャルキャピタル</p>

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、2、4

授業のレベル:3

評価:実習要項に提示する評価表に基づいて看護実践70%、実習態度30%で評価する。

実務経験との関連:看護師・助産師として臨床経験(周産期・ウイメンズヘルスケア)のある教員が母子とその家族に対する基礎的看護実践について実習指導を行う

教科書:母性看護学Ⅰ概論・ライフサイクル第2版、南江堂、大平光子他編。母性看護学Ⅱマタニティサイクル第2版、南江堂、大平光子他編

参考書:新生児学入門第5版、医学書院、仁志田博司。最新産科学正常編22版・異常編22版、文光堂、荒木勤

ウエルネスからみた母性看護過程第3版、医学書院、佐世勝正/石村由利子編

その他:周産期医学を受講していることが望ましい

## 小児家族看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標: 地域や医療施設において生活している子どもと家族の関わりを通して、小児と小児看護の特性を理解する。さらに、生活援助や治療援助に関わる看護実践を体験することにより、対象を総合的に理解し、対象の個性に応じた看護実践が展開できる基礎的な能力を身につける。

科目責任者(所属): 金山 俊介(母性・小児家族看護学)、花木 啓一(母性・小児家族看護学)

連絡先: s-kanayama@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~68	別途指定	別途指定	別途指定	別途指定	別途指定	<p>保育園実習 乳幼児の保育に参加し、成長発達の観察、保育技術の実践、保育士・保育園看護師の関わりや保育環境について学ぶ。</p> <p>病棟実習等 1)一人の患児を受け持ち、その児の成長発達及び健康障害を理解し、看護援助を行なう。 2)保健・医療・福祉システム、チーム医療、多職種連携・協働を学ぶ</p>	金山 俊介 花木 啓一 鈴木 康江 佐々木 くみ子 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	<p>1) 小児の特徴を理解し、成長発達を促すための援助方法について述べる事ができる。</p> <p>2) 小児の健康障害が小児とその家族に及ぼす影響を理解し、その援助について説明することができる。</p> <p>3) 看護ニーズに関する情報を系統的にアセスメントし、健康課題を明確化することができる。</p> <p>4) 理論的根拠をふまえ、対象の個性に応じた看護援助を計画し実践することができる。</p> <p>5) 小児・家族に関わる医療チーム、多職種・多機関の役割、連携、協働について説明することができる。</p>	小児、成長・発達、保育、生活習慣、健康の保持増進、健康障害、看護援助、家族支援、インフォームド・アセント、プレパレーション、ディストラクション、子どもの生活環境、安全、児童福祉、子育て支援、退院支援、多職種連携、

教育グランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6、7

※授業目的・目標を達成するために自己学習が必要です。内容は別途具体的に提示します。

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: 評価表に沿って看護実践(対象の理解、看護過程の展開、対象との関係性の構築など)75%、実習態度25%で評価する。

実務経験との関連: 看護師経験のある教員の指導のもと、小児看護に関する実習を行う。

教科書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論、医学書院、奈良間美保 他、2019年

小児看護学概論、南江堂、二宮恵子、今野美紀、2019年

発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程、医師薬出版株式会社、荃津智子、2018年

その他: 看護学生の臨床実習用損害賠償保険に加入しなければ受講できない

## 公衆衛生看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標:市町村および都道府県型における公衆衛生看護活動の実際を具体的、総合的に理解し、看護の展開に必要な知識、技術、態度を修得する。

科目責任者(所属):松浦 治代(地域・精神看護学)

連絡先:bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	日付	時限	場所	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1 ~ 90	別途指定			対面	遠隔(資料・課題)とリアルタイム講義(meet)併用	事前に配布する要項を参照すること	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	市町村・保健所における保健福祉事業への参加を通じて、行政保健師の役割を理解する。 地域の社会的、文化的特性をふまえた健康問題の理解と、その発見と理解に必要な情報収集、アセスメント、活動計画立案、実施、評価の過程を理解する。 地域看護活動は個人、集団、地域社会へのアプローチを相互に連動させ展開することを理解する。 保健、医療、福祉の役割と連携のあり方を理解し、地域の特性にあったサービスの提供について学ぶ。 地域保健、医療、福祉に関わるチームの一員としての保健師の独自性と専門性を理解する。	地域看護診断、家庭訪問、健康教育 健康相談、集団・個別検診・健診、精神デイケア、介護予防事業、関係者会議

教育グランドデザインとの関連:1、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:4

評価: カンファレンスも含めた実習態度・参画度、提出物(で)評価します。

実務経験との関連: 現役保健師の指導の下、市町村、保健所等での公衆衛生看護活動に関する実習を行う

教科書:なし

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

**精神看護学実習(臨地実習3年次後期)**

科目到達目標:

1. 精神障害をもつ人とかかわり、対象の生活体験を知ることを通し、理解を理解するための精神看護の視点について理解する。
2. 対人関係プロセスを振り返ることを通し、自己理解及び対象理解を深め、ケアへ活かすための関心の深化と気づきを得ることにより、関係性を中心としたケアを実践するための基盤となる能力の獲得を図る。
3. 精神的な援助を必要とする人々への看護や相互作用を伴う実践を通し、精神看護における看護実践を学ぶ。
4. 精神保健上の健康課題をもつひとや家族についての地域の社会資源や支援、制度などを理解し、精神保健福祉の現状と課題について考えることができる。

科目責任者(所属教室): 吉岡伸一、安部由紀(地域・精神看護学)

連絡先: 0859-38-6333、E-mail: shiyoshi@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	
1-2			実習室	別途指定	別途指定	精神看護学実習オリエンテーション	吉岡 伸一 安部 由紀	地域・精神看護学	1)精神疾患を持つ人の看護について、疾患の理解と看護ケアの 方略、コミュニケーション技法についての復習を行い、活用できる知識としての学習及び整理ができ、レディネスを高められる。 2)精神看護学実習における目標について、個人の課題や傾向を踏まえた焦点化ができる。	精神疾患の医学的理解 精神看護の知的理解 精神科看護の知的理解 レディネス 自己の傾向と課題の焦点化	
3-5		実習室	別途指定	別途指定	精神看護学実習事前課題学習 実習目標の焦点化						
6-7		実習室	別途指定	別途指定	精神看護学実習直前オリエンテーション						
8-24			実習病院	別途指定	別途指定	精神科における精神看護学実習			1)対象の理解 ①対象にとつての精神保健上の健康問題や生活上の困難をとらえ、対象自身がそれらをどのように体験しているのかを知ろうとする姿勢をもち、かかわりに活かすことができる。 ②精神保健上の健康課題について、医学及び治療の観点からの説明を理解することができる。③対象の特性やストレス、価値、生き方などを、対象の生活史や家族背景、社会関係とのつながりから理解し、個別性の理解を図ることができる。 ④ケアの方向性について、学習者自身のアセスメントにとどまることなく、対象本人や家族、ケア者とともに考える姿勢を学ぶことができ、対象にとつての回復のイメージを共有し、ケアの方向性を導き出すことができる。 2)関係性を中心としたケアの実践 ①対象の言動がもつ意味に関心をもち、対象理解を深めることができる。 ②かかわりを通して体験した対人関係を振り返ることができ、自己理解および対象理解を深めることができる。 ③対象―看護師のかかわりを通して言動や価値の相互作用を理解し、援助的な対人関係の形成と自己活用を深めていくための基盤となる能力を身につけることができる。 3)思考と感情の言語化 ①対象やケアにかかわる相互作用を通して自己に生じた感情や考えを、自身の言葉で表現し、他者に伝えることができる。 ②語ること、聴くことの実践を通し、自己と他者の感情や思考に触れ、インフォーマルな支援の意味合いを体験することができる。 4)精神保健にかかわる資源についての理解 ①精神保健にかかわる連携や、ダイナミクス、チームについての実際を理解できる。 ②自己の価値観や倫理観に関心をもちことができ、精神保健上の健康課題をもつ対象の尊厳を考慮した看護の役割を考えることができる。 ③精神保健上の健康課題をもつ対象を生活者としてとらえ、予防・維持・増進についての視点をもつことができる。	対象理解 精神看護 精神科看護 かたい理解とやわらかい理解 コミュニケーション 言語的コミュニケーション 非言語的コミュニケーション プロセスレコード 情報の統合 アセスメント 患者理解 患者―看護師関係の構築 沈黙 言語化 感情表現 医学的理解 病識 入院形態 精神保健にかかわる法律 行動制限 化学的拘束 保護室 かかわりがケアになる 自己理解 相互作用 つ治療のかかわり 連携 作業療法 SST PSW 看護倫理 患者の権利 意図的観察 体験の意味づけ 価値観 ライフストーリー 社会的入院 病状理解 経過の理解 向精神薬 副作用 統合失調症 感情障害 発達障害 依存症 アディクション 認知症 エモーションナルリテラシー 安全 ニーズの焦点化 相互サポート グループ ダイナミクス 多職種連携 社会資源 など	
25-26		実習病院	別途指定	別途指定	精神科ケースカンファレンス						
27-28		実習室	別途指定	別途指定	アセスメント個人フィードバック						
29-37		実習病院	別途指定	別途指定	精神科における精神看護学実習						
38-43		実習病院	別途指定	別途指定	自立支援施設における精神看護学実習						
44-45		実習室	別途指定	別途指定	まとめカンファレンス	精神看護学実習の学びや気づきを言語化することによる共有、「聞く」「話す」ことによる相互サポートの場を体験、自己の学びと課題の明確化及び体験の意味づけの促進を図ることができる。					相互サポート 言語化

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4

学位授与の方針との関連: 1、2、4

授業のレベル: 3

評価: 実習記録提出を前提に、実習全般における「対象の理解」「対象関係の構築」「思考や感情の言語化」「環境および社会資源の理解」「記録」の視点に出席状況を加味し、総合評価100%

実務経験との関連: 現役の看護師、自立支援施設指導者がその経験を活かし、精神疾患をもつ人へのかかわりについて指導する。

教科書: 1. 精神看護学[2] 精神障害をもつ人の看護 第5版(メヂカルフレンド社、岩崎生編、2019)

参考書: 1. 精神看護学[1]精神看護の基礎 第6版(医学書院、武井麻子他著、2021) 2. 精神看護学[2]精神看護の展開 第6版(医学書院、武井麻子他著、2021)

3. 精神看護学 I 精神保健学 第6版(ヌーヴェルヒロワ、吉松和哉他編集、2015) 4. 精神看護学 II 精神臨床看護学 第6版(ヌーヴェルヒロワ、川野雅彦編、2015)

5. 精神看護学①精神看護概論・精神保健 第5版(メヂカルフレンド社、岩崎生編、2019) 6. 根拠がわかる精神看護技術(メヂカルフレンド社、山本勝則、藤井博英著編、2008年)

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、目標達成のための自己学習、予習・復習してください。

## 在宅看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標: 病や障がいとともに地域・在宅で生活している人とその家族の生活の様子を知る。

そして、人々が地域・在宅で自分らしく「生活する、生きていく」を支援するための、統合的看護実践能力の基礎を習得する。

科目責任者(所属): 仁科 祐子(地域・精神看護学)

連絡先: nishina@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~45	別途指定		訪問看護ステーション	別途指定	別途指定	訪問看護ステーションのオリエンテーション	訪問看護師(実習指導者) 仁科 祐子 雑賀 倫子 安部 由紀	地域・精神看護学	1. 訪問看護実践の実際を知り、実践の根拠・理由を述べることができる。 2. 自己のコミュニケーション能力を活かして、対象者の関心や心理状態に応じた会話が出来る。 3. 在宅療養者と家族の健康と生活について、五感を使って観察することができる。 4. 在宅療養者と家族の健康と生活についてアセスメントできる。 5. 在宅療養者と家族の健康上の問題・ニーズをいくつか挙げ、優先順位を判断できる。 6. ニーズに対し、その人の生活を重視した看計画を立案できる。 7. 在宅療養者と家族の生活と、社会資源・地域社会などの環境とのつながりについて説明できる。 8. 家族の支援について説明できる。 9. 「人が生活する・生きていく」を支援する看護について、自分の考えを述べる事が出来る。 10. 在宅療養者を主体とした看護とはどのようなものか、自分の考えを述べる事が出来る。 11. 在宅でのケアチームにおける多職種協働と看護師の役割について自分の考えを述べる事が出来る。 12. 看護の提供体制、看-看連携、継続看護について、自分の考えを述べる事が出来る。 13. 訪問看護ステーションや訪問する利用者宅でマナーを守り訪問看護師と協働して行動できる。 14. 主体的に実習に取り組み、実習を通して新たな自己の発見や課題を見つけることができる。	マナー
						訪問看護師との同行訪問				主体性
						うけもち利用者の同行訪問・看護過程の展開・計画の一部実施				協働性
						実習記録の作成(実習目標・日々の記録・うけもち利用者の記録・学内演習レポート・最終レポート)				自立と尊厳
						* 併設施設での実習、サービス担当者会議や退院前カンファレンスへの同行、訪問診療同行などが体験できる場合あり				観察とアセスメント
						実習オリエンテーション				フィジカルアセスメント
						マナー演習				ニーズ
			日常生活援助技術の演習			対象者中心思考				
			中間報告会・カンファレンス			生命と生活				
			訪問看護場面のロールプレイング演習			生活と医療				
			事例検討会			自分らしさ				
						思い・希望				
						家族・介護				
			まとめの報告会・カンファレンス			人的環境				
	介護保険、医療保険、地域包括ケアシステム、地域共生社会									

教育グランドデザインとの関連: 1、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 3

評価: 実習態度・マナー・主体性等: 10点

日々の記録: 20点

看護過程の展開: 30点

学内演習・カンファレンス: 20点

レポート: 20点

\* 遅刻、記録提出遅れなどは大幅な減点となるので注意してください

実務経験との関連: ○訪問看護ステーションの管理者から事業所概要についてオリエンテーションをうける。

○熟練訪問看護師と同行訪問し、訪問看護実践について観察、一部実践する。その後フィードバックをもらう。

○訪問看護ステーション管理者、スタッフと学生は、実習経験の振り返りカンファレンスを行う。

教科書: ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版

参考書: 山内豊明.フィジカルアセスメントガイドブック 第2版.医学書院 角田直枝.よくわかる在宅看護.学研

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 家族看護論

科目到達目標: 家族看護の必要性や意義を理解し、その理論背景を基に看護展開の手法について理解できる。

科目責任者(所属教室): 鈴木 康江(母性・小児家族看護学)

連絡先: 0859-38-6326、アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	公開
1	10/4(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護とは何か ～家族看護学のめざすもの	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族看護の必要性が理解できる。家族看護での家族と看護者の役割が理解できる	家族機能	
2	10/11(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護の基礎的理論	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族看護学の基礎となる理論が理解できる	システム理論、コミュニケーション理論、家族の構造	
3	10/18(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族の発達課題、ライフイベントと 病気、家族機能アセスメント	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族の発達を理解し、アセスメントできる	家族アセスメント	
4	10/25(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	エコマップの書き方、仮説の立案	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	仮説の立て方を理解し、問題をかかえる家族、悪循環が想起できる	家族面談、エコマップ、ジェノグラム	
5	11/1(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族への介入モデル	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	介入の基礎が理解できる。介入モデルの使い方が理解できる	家族の発達段階、機能アセスメント	
6	11/8(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護の実践	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族看護の実践について		
7	11/15(月)	3	ヒポクラティス	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護の実践方法(1)	中村 由美子	文京大学 教授(非常勤講師)	家族看護が必要な家族はどんな家族なのか、理解できる	エコマップ、仮説	※
8		4	ヒポクラティス	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護の実践方法(2)			家族看護を臨床で展開する方法を理解できる	介入的な質問	※

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 3

評価: 試験80%、提出物20%

実務経験との関連: 看護部門での実務経験を踏まえて講義する

教科書: ≪系統看護学講座 別巻≫ 家族看護学: 医学書院

参考書: 講義の中で紹介する

その他: 授業目的・目標を達成するために各回授業に対し1時間程度の自己学習が必要です。授業に向けた準備等については別途具体的に提示します。

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

※公開: 助産実習関連施設等の助産師、HOCの聴講可

## 看護の統合

科目到達目標：発達、健康、生活の場に応じた健康にかかわる課題の臨床判断能力を高める。適切な臨床判断に基づいた看護行為（生活援助、生活支援）を提供できる能力を高める。

科目責任者：看護学専攻主任

連絡先：bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～23	1月4日（火）～ 1月21日（金）	未定	ヒポクラテス・ATU1～10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	<b>統合A</b> (1) 臨床判断プロセスの明確化 (2) 臨床判断プロセスの振り返り (3) 自らの臨床判断の傾向や特徴、課題 (4) 臨床判断についての課題と対応 <b>統合B</b> (1) 対象者の理解と看護援助計画の検討 (2) 臨床判断に基づいた看護援助の実施① (3) 臨床判断プロセスとその評価、看護援助の実施に関する課題 (4) 学習強化と臨床判断に基づいた看護援助の実施② (5) 臨床判断に基づいた看護援助の実施②の振り返り <b>統合C</b> (1) 「適切な臨床判断とは何か」「実習に活かしていくための自己研鑽の在り方と具体的な学習方法」についての思考と言語化 (2) 学生間での共有と学習内容の普遍化（普遍的な法則や概念を作り出すこと）	看護学専攻 教員	基礎看護学	看護の統合A (1) 臨床判断プロセスを振り返るために看護場面を抽出し、対象者および看護援助の概要を表現することができる。 (2) 看護場面の臨床判断プロセスを明確にし、振り返ることができる。 (3) 臨床判断プロセスに対する自らの特徴や傾向をあきらかにし、自己の課題を明確にする。	看護場面、看護事象、表現、臨床判断、判断プロセス、影響要因、批判的思考、共感性、危険性の予測と対応、倫理的課題と対応、臨床判断、判断プロセス、影響要因、批判的思考、共感性、看護実践能力、自己評価、自己課題の明確化、自己学習能力、アセスメント能力、コミュニケーション儀技術、ヘルスアセスメント技術、生活援助技術、症状緩和およびコントロール技術、心身機能の維持に関する技術、治療・検査に伴う技術
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
								看護の統合B (1) 提示された事例について対象者の理解を深め、臨床判断に基づいた看護実践の視点から援助方法を検討することができる。 (2) 看護援助の計画をもとに、対象者の状況や状態に応じて、臨床判断に基づいた看護援助を行うことができる。 (3) 実施した看護援助の振り返りをとおして、自己の臨床判断の特徴や傾向、臨床判断に基づいた看護援助を行うための自己の課題を明確にできる。		
								看護の統合C (1) 看護の統合AとBの学びをもとに、臨床判断プロセスに添って臨床判断に関する自己の課題の整理を行い、臨床判断に必要な能力獲得のための学習方法について言語化することができる。		

教育ブランドデザインとの関連：2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業のレベル：4

評価：評価表に沿って到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連：看護師としての実践経験のある教員が、臨床判断とそれに基づく看護実践について学生の思考プロセスを支援する。

参考書：別途提示します。

※授業目的・目標の達成に必要な量の予習あるいは復習課題を別途具体的に

## 助産診断技術学演習 I

科目到達目標：分娩期の助産診断過程：基礎的知識・技術を理解し母児が安全に出産できるよう支援法が理解できる。

ウィメンズヘルスケア：女性特有のがんについて理解し、予防・早期発見への健康活動方法が理解できる。

科目責任者(所属)：鈴木 康江(母性・小児家族看護学)

連絡先：0859-38-6326 E-mail: ysuzuki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード					
1	11/8(月)	4	助産実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	オリエンテーション	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	周産期に関する基礎的能力を確認し、学修の必要性・内容を理解する。	周産期・フィジカルイグザミネーションの基礎的知識					
2	11/22(月)	3		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	妊娠末期・分娩期の事例展開・個人学修	鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 服部 多恵	母性・小児家族看護学	妊娠期から分娩入院の問い合わせ、対応、来院時の健康診査を理解し、ロールプレイを通して自己の課題を意識して整理できる。 分娩期の助産診断過程の定義・特徴、アセスメントの視点を理解し、分娩第1期の経過・経過予測するために必要な観察項目を抽出できる。	来院の判断に必要な問診と対応、来院までの準備(産科・妊娠経過の把握、分娩室の準備)、 来院時のアセスメントと健康診査に必要な技術、 分娩期の診断(時期診断・経過診断・経過予測診断)・アセスメントの視点、観察内容					
3		4		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	グループ学習・討議・ロールプレイ									
4	11/24(水)	1		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	実習施設の特長について									
5		2		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	実習振り返り: 集団指導									
6		3		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	介助技術: 演習									
7	4	対面		パターン2遠隔(オンデマンド学習)	介助技術: 演習										
8	11/25(木)	1		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	保健指導案									
9		2		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	保健指導案									
10		3		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	介助技術: 演習									
11	4	対面		パターン3遠隔(リアルタイム学習)	介助技術: 演習										
12	2/28(月)	2		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	子宮頸がんの早期発見と支援					鈴木 康江	母性・小児家族看護学	子宮頸部がんの病理、症状、診断・検査法、治療法について理解し、予防と診断治療の支援について理解できる。がん検診法をモデルを使用して手技ができる。	子宮頸がん、HPV、HPVワクチン、パップスメア、病期、治療法、疫学	
13		3		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	思春期保健指導法					大島 麻美 鈴木 康江	母性・小児家族看護学	思春期保健の課題と対策、保健指導方法の具体例について理解し、実践方法について理解できる	思春期ピアカウンセリング、性感染症、若年妊娠、LGBT、いじめ、自尊感情、自己肯定感、	
14		4		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)										
15	3月上旬	3		シミュレーションセンター	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					軟産道の損傷・会陰切開とその修復(縫合術)	原田 崇 経遠 孝子	総合周産期母子医療センター(産科医)	軟産道損傷の原因・程度をアセスメントし、会陰裂傷の縫合をシミュレーションし、縫合術の手技、介助についてイメージできる。	会陰裂傷の原因・診断・分類、会陰切開の種類・時期と手技、会陰裂傷の縫合と看護援助
16		4		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	妊婦健診・アセスメント(超音波検査法)					周産期における超音波検査法を理解し、超音波機器の使用方法が分かる。			超音波検査の原理、安全性、妊娠初期・中期・後期の超音波検査のシミュレーション	
17	3月上旬				対面	パターン3遠隔(オンデマンド学習)					地域周産期医療(見学)	大谷・鈴木	母性・小児家族看護学	地域での周産期医療の実際について見学(助産所・クリニック)	※感染状況によっては変更の可能性あり

教育グランドデザインとの関連：2、3、4、5

学位授与の方針との関連：2、4

授業のレベル：3

評価：レポート30%、技術確認70%

実務経験との関連：診療部門、看護・助産部門での実務経験を踏まえて演習する

参考書：助産学実習プレブック、母性実習プレブック、新生児学入門第4版、胎児心拍数モニタリング講座、病気の見える産科学、病気の見える婦人科・乳腺外科学

助産師基礎教育テキスト5巻、6巻、母性看護学Ⅱ、新生児蘇生法テキスト第3版、産婦人科診療ガイドライン産科編2020エビデンスに基づく助産ケアガイドライン(妊娠期・分娩期)2020。

DVD:目で見える新生児看護1-4巻、目で見える母性看護1-6巻、産褥経過のアセスメントと支援1-4巻

その他：助産師国家試験の受験要件講義

授業目的・目標を達成するために各回授業に対し1時間程度の自己学習が必要です。授業に向けた準備等については別途具体的に提示します。

助産関連講義資料、母性家族看護学関連講義・演習資料を整理し、到達目標を確認し、予習準備をして演習に臨んで下さい。

集中で行います

講義内容・日程の変更の可能性もあります。manabaでお知らせします。

助産診断技術学演習 I を履修するためには、3年生前期までの助産国家試験必須科目(選択科目)および看護必修科目の履修を全て修得(見込み可)できていること

◎実習関連施設の助産師への公開講義

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。



## 助産業務管理論

科目到達目標: 妊婦・産婦・褥婦・新生児が快適に生活するための業務、病院管理、評価を学ぶ

- ① 周産期医療システムの運用と地域連携、助産の果たす役割について理解できる
- ② 場に応じた助産業務管理の実践が理解できる
- ③ 法に基づく助産師の業務管理について理解できる

科目責任者(所属): 大谷 多賀子, 鈴木康江 (母性・小児家族看護学講座)

連絡先: 6327

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産管理の基本/理念	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	助産管理の基本がわかる 助産にかかる関連法規と助産業務について理解できる	助産管理、医療法、保助看法、母子保健法、母体保護法など
2	10/18(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	産科補償制度、助産業務	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	産科補償制度について理解し、安全な出産環境とは何か考察できる	産科補償制度
3	10/25(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	危機管理と助産: 災害、医療事故	大谷 多賀子	母性・小児家族看護学	危機管理について理解し、災害時及び医療事故への備えを助産師として対応できる	産科補償制度、医療事故、インシデント、災害、災害支援
4	11/1(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	母子保健行政	大谷 多賀子	母性・小児家族看護学	母子保健行政が理解できる	母子保健行政
5	11/8(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産業務管理の実際: 助産所、地域	西江 順子	開業助産師(非常勤講師)	助産所の運営管理が理解できる	助産所、基準、助産業務ガイドライン
6	11/15(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	地域での助産活動: 子育て支援、クリニックでの助産業務管理	渋川 あゆみ	アドバンス助産師(非常勤講師)	地域での支援について理解できる。 クリニックでの助産管理について理解できる。	子育て支援、産後ケア事業、助産師出向支援
7	11/22(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産業務管理の実際: 院内助産、助産外来	平野 めぐみ	アドバンス助産師(非常勤講師)	院内助産を運営する上で、どのようなスキルを必要とするか理解できる	院内助産、助産外来、産科診療ガイドライン
8	11/29(月)	1	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産師に求められるチーム医療、これからの助産師	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	チーム医療について理解し、その中で助産師が果たす役割について理解できる	助産師出向、新人助産師研修制度、助産師習熟度段階認定、卒後教育、ポートフォリオ

教育グランドデザインとの関連: 2, 3, 4, 6

学位授与の方針との関連: 1, 2, 4

授業のレベル:

評価: 定期試験90%、レポート10%他

実務経験との関連: 助産の施設・地域での活動の実践経験をふまえて講義する

指定教科書: 助産師基礎教育テキスト 2021年版 3巻 周産期における医療の質と安全 日本看護協会出版会

新版 助産師業務要覧 第3版(基礎編) 日本看護協会出版会

助産業務ガイドライン2019 日本助産師会

特に周知を要する事項: 助産師国家試験の受験要件講義

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。